練馬区立開進第一中学校

開進一中だより

平成３０年度　第６号　平成３０年１０月２５日発行

ノーベル賞 本庶佑(ほんじょたすく) 教授の言葉

校長　古山真樹

今年のノーベル医学・生理学賞に京都大学の本庶佑特別教授が選出されました。日本人２６人目の快挙です。このところ毎年のように日本人の受賞者が出ることはうれしく誇らしいことです。ここでは本庶教授の受賞会見の言葉、ブログの言葉を紹介したいと思います。１年生は道徳でも学習した「教科書に書いてあることを信じないこと」という言葉。びっくりする言葉ですが、本庶教授の真意は、「知りたい」と思うこと、「不思議だな」と思う心を大切にして、教科書でさえも鵜呑(うの)みにせず、常に疑いをもって「本当はどうなっているんだろう」と自分の目で見て確かめてみることの大切さを語っています。もう一つの言葉は研究の喜びについてです。「多くの人が石ころだと思って見向きもしなかったものを拾い上げ、10 年 20 年かけてそれを磨き上げて、ダイヤモンドであることを実証することである。」と言っています。喩(たと)えた表現ですが、時間をかけて本当にこれは無意味なものなのかを自分の眼で確認して、自分で分析して納得するまで追究することの大切さを言っています。同時にこの言葉は現代社会への大きな問題提起と言えます。かつてバブル経済と言われた１９８０年代には潤沢(じゅんたく)な資金を背景にじっくりと基礎研究を進めることができ、そのおかげでここ数年のノーベル賞ラッシュがあるそうです。研究が実を結び、認められるまでには数十年という長い年月が必要です。ところがバブルは崩壊し、研究資金が削られます。さらに最近の傾向としてお金儲(もう)けに直結する応用研究・開発研究がもてはやされ、短期間で大きな成果、利益を挙げることが研究者の生き残りの条件となってしまっている面があるそうです。企業はそれでもいいでしょうが、研究の世界はそうではありません。それぞれの分野の基盤となる基礎研究が最も大切です。真理の追究には時間がかかりますが、人類の発展に大きく寄与(きよ)するものです。考えてみれば人間だって一人前になるまでには二十年近い月日が必要です。何もかもがめまぐるしく流れる現代、見失ってはいけないものがあることを本庶佑教授の言葉が物語ってくれています。

今月の一句　をりとりてはらりとおもきすすきかな　飯田蛇笏(いいだだこつ)

まず誰もがすべてひらがな表記になっているところにびっくりしますよね。元は「折り取りてはらりと重き芒(すすき)かな」でしたが、すべてひらがなに変えました。みなさんいかがですか。すべてひらがなにしたことですすきの柔らかさ、しなやかさを表しました。さらには、「おりと㋥」「はら㋥」「おも㋖」「すす㋖」とイ段の音で終わる語を重ねてリズミカルで柔らかい感じを醸(かも)し出しています。こういったことも俳句の一つの技法と言えます。さて、内容は漢字で書くとすぐにわかりますね。野原で風になびいているすすき、一本折って手に取ってみると意外な重さに驚かされたという内容です。折ったすすきに生命力、生命の重みを感じています。すすきに生きているものの重さを感じ取ったことが作者の発見です。また重いならば「ずしりと」と言うところを軽いもの・危(あや)ういものに付ける擬態語「はらりと」を使ったところにも作者の感性が感じられ、すすきのしなやかさを表しています。

さて余談になりますが、かつては十五夜のお月見の日にすすきと団子をお供えしたものですが、今ではほとんどその習慣はなくなってしまっています。また、かつてはあちこちに原っぱがあって、十五夜の日に取ってきたものです。この俳句はそんな日の出来事なのですね。

最後に「折る」がなぜ「をる」という表記かというと、歴史的仮名遣(れきしてきかなづか)いでは「あいうえお」と「わゐうゑを」は、はっきりと区別し、かつては発音も違っていたからです。今では「を」が文頭に来ることはありませんが、以前は「をかし」「をとめ」などと記しました。これも教養として知っておいてください。

オリンピック・パラリンピック教育推進事業

夢★未来プロジェクト　ケニアと日本をランニング文化でつなげる

サイラス・ジュイ選手　ご本人が本校に来てくださいます

実施日　平成３０年１１月１０日（土）第２土曜　学校公開日

選手紹介　サイラス・ジュイ　選手

種目　陸上
実績　2010 年北海道マラソン優勝
　　2011 年札幌国際マラソン優勝
経歴　1986 年ケニア生まれ。
　　流通経済大学付属柏高校へ留学以降、日本で活動を続け、現在はセブスポーツ所属のランナーとしてレース参戦以外にもランニングクリニックなどを積極的に行っています。

■１校時　8:50～9:40（50 分）　オリパラ教育【各教室】
■２校時　9:50～10:40（50 分）　講演会【体育館】
①アスリート紹介
②ケニアでの生活・ケニアと日本の文化の違い
　マラソンの楽しさなど
③模範演技・質問など
④記念写真の撮影（体育館）　※一般生徒下校 11:00
■サイラス選手による実技指導　11:15～12:00（45 分）
活動場所【校庭】（雨天時：体育館）
※ストレッチや体の動かし方を学ぶ「ケニア流ドリル紹介」
※陸上部員参加

いよいよ明後日「文化発表会」

明後日に迫った文化発表会。発表団体は最後の準備を進めています。２４日（水）に舞台リハーサルが行われ、司会・照明・動きなど全体の流れを確認しました。もう少し微調整が必要な団体もあるようですが、本番では素晴らしい発表を見せてくれると思います。

保護者・地域の皆さま、今週土曜日が文化発表会となります。当日の発表を目指し、生徒は毎日一生懸命に準備をしています。お時間がございましたら本校生徒の学習の成果をぜひご覧いただき、生徒を励ましていただければ幸いです。

▲体育館でリハーサルを行う吹奏楽部

▲パネル画制作　完成は当日のお楽しみ

▲舞台袖で動きを確認する係生徒

▲司会と合わせながら舞台練習をする3年生

大規模改修工事　Ⅱ期

大規模改修工事Ⅱ期の日程が決まりましたのでお知らせいたします。工事期間中は、大変ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

なお、１１月から格技棟周囲にフェンスや足場を組みます。ご来校の際は、足下・頭上等に十分にご注意ください。

◆Ⅱ期工事内容　　格技棟外壁工事・プール改修・防水工事・電気工事
◆Ⅱ期工事期間　　平成３０年１１月１２日（月）～平成３１年３月８日（金）
◆格技棟内工事期間　平成３０年１２月１日（月）～平成３１年２月１１日（月）
※上記期間は格技棟の夜間開放も中止します。